

2023-24年度 朝岡会長テーマ -みんな 楽しく 仲良く そして未来へ-
 第 3129 回例会 令和 6 年 1 月 23 日(火) 天気:晴 No.21

2023-24年度
RIテーマ



世界に希望を生み出そう



会長 / 朝岡 正 幹事 / 松田茂治

クラブ会報委員 金原健志 / 本田正則 / 大内基浩 / 宍戸秀隆

例会日: 火曜日 12:30 例会場: 西尾コンベンションホール

事務局: 西尾市永楽町 3-45 西尾信用金庫中央支店内 204

TEL: 0563-54-7770 FAX: 0563-54-7050 URL: <https://www.nishio-rotary.org>

【本日のプログラム】

司 会	石川竜司 例会運営委員	斉 唱	「君が代」「四つのテスト」
プログラム	クラブフォーラム	食 事	福きたる
ビジター	愛知ロータリーEクラブ幹事 天野元成君	S A A	天野恭子君



【会長挨拶】



震災から3週間経ちました。まだまだ現場は結構大変なようです。これを機に我が家を確認したところ、非常用持出袋などは買ってありましたが、5年保管の水が2ダースも賞味期限切れになっていました。以前であれば捨ててしまっていたのですが、今回の話を聞くと生活用水が非常に不足しているようで、ひとまず飲めなくても生活用水として保管しておくことになりました。

日本の名字で一番多いのは佐藤さんで約193万人、これは岡山県の人口に匹敵する数だそうです。2位が鈴木さんで187万人、3位が高橋さんで140万人、田中さんが134万人で4位、5位が渡辺さん、6位伊藤さん、7位中村さんという順番になっているそうです。上位7つの名字

を合計すると約990万人いるそうで、日本の12人に1人はこの7つの名字の方になります。人間の血液の量は体重60kgの人で約4.6kgあるそうです。循環ポンプの役割をもつ心臓は拳程度の大きさで200~300g、心筋が1回収縮すると約70mlの血液が体内に送り出されます。1分間に70回の心拍数の場合、1分で約4.9Lの血液を回し、全身を流れて心臓に戻ってくるまでに要する時間は約1分です。血管すべてを合わせた長さは約10万kmで、地球2周半程の長さがあるそう。1日に心臓が送り出す血液量は、およそ7tになり、1年では約2600tになります。80歳まで生きるとして計算すると一生涯で21万tの血液を回すということです。心拍数は29億4千回位になるそうです。数字で見ると色々と面白いです。

【委員会報告】

〈出席委員会〉本多 淳委員長

本日の出席数 52名
 欠席数 17名
 出席率 75.36%

〈スマイルボックス委員会〉谷崎直樹委員長

愛知ロータリーEクラブ幹事 天野元成君 S A A 天野恭子君 西尾ロータリー様には当クラブ創立以来、お世話になりました。お陰様で今年10周年を迎えます。今後とも宜しくお願い申し上げます。

田中正規君 愛知Eクラブ会員の天野ご夫妻、ようこそ西尾RCへ。

朝岡 正君 愛知ロータリーEクラブ 天野元成さん、恭子さん、今日はようこそ西尾RCへ。

松田茂治君 新年夜間例会を盛大に行えました。皆さんに感謝です。親睦の皆さん有難うございました。

三浦康彦君 Eクラブの天野元成さん、天野恭子さんようこそ西尾クラブに。当社の森専務、福田課長がお世話になっています。又、今度の日曜日は体育館で中部日本剣道大会があります。一番力が発揮される20代の若手選手が出ます。

山崎周彌君 西尾マラソン完走。私ではなく参加したのは孫でした。

三浦眞澄君 西尾マラソンで一番美味しかったのは鳥山さんの豚汁、一番ご活躍は「しんがり」を務めた犬塚まるいち大将！お疲れ様でした。

岩崎智一君 週末は西尾マラソンに参加させて頂きました。雨でしたが沢山の方に応援して頂き、元気に走り終える事が出来ました。皆様有難うございました。

稲垣良次君 西尾マラソンで西尾市観光協会の豚汁提供のお手伝いをさせて頂きました。社員40人を動員しての応援でしたが皆大変感動しました。有難うございました。

柴田高広君 西尾マラソンで当社社員7名完走できました。イナテックさんはじめ沿道のホスピタリティーに感動していました。おなかのふくれるマラソン大会ははじめてだとも。

鳥山欽示君 久しぶりのホームクラブです。

冷雨の中、西尾マラソン開催。おもてなし豚汁、稲垣社長には大変お世話になりました。

榊原茂太郎君 1/11新年例会には多くの皆様に参加頂き有難うございました。皆様の友情に感謝致します。

〔ビジター挨拶〕 愛知ロータリーEクラブ幹事 天野元成君



今回初めて西尾RCにお伺いさせていただきました。当クラブは10年前に田中先生から認証状をいただいて発足しました。おかげさまで10周年を迎え、5月11日RFFの日に10周年記念例会をさせていただけることになりました。

当クラブは西尾RCの全面的なバックアップで成り立っています。西尾RCのホームページでは「出席できない場合はEクラブへ」とリンクを貼っていただいております、非常にありがたいです。

当クラブはEクラブとしてネットから始まりましたが、現在は月2回のネット例会にプラスして月に1～2回は実例会という形で運営しています。RCは顔を合わせたり、奉仕活動をしたりするものだとということで、Eクラブではありますが実例会を実施することになりました。12月は3回実例会がありました。その内の1回は幡豆で開催された山本眞輔展に行き、三水亭で鰻を食べました。このような運営体制のためEクラブという名前も、もっと素敵な名前に変えていくことを考えています。通常例会は名古屋駅前のJPタワーもしくは栄の久屋大通にあるレストランで土曜日の昼にやっています。次年度はネットのメーキャップだけではなく、土曜日に名古屋での買い物ついでにお顔を出していただける実例会でのメーキャップもできる形を考えています。西尾RCを見習って良いクラブにしていきたいと思っております。

〔SAA挨拶〕 榊原康正君



新年早々に大きな地震がありました。日本に住んでいる限り、地震は避けることができません。1番記憶に残っているのは昭和20年1月13日の三河大地震です。午前3時37分、私は父に抱えられて表に飛び出しました。ひと月程は畑の中で寝て過ごしました。こういった災難は絶対に繰り返してはならないと思います。大切なことは平時の心がけと備えです。皆様も平時からしっかり備えていただけたらと思います。

日本の人口減少が心配です。生き物の1番の本能は自分の子孫をいかにたくさん残すかです。日本では子どもを作って幸福になれるか心配がよぎり、本能さえも失われてしまっています。1番大事な本能を失った日本が将来、国として成り立っているかどうか心配されます。海外からたくさんの人に来ていただいて、一緒に生活をしていく世の中が目の前に来ています。日本が嘗てのように栄えるには、いろんな若者たちが夢を持てる時代にしていかなければいけません。我々にできることは何か、未来のために考えて、ロータリーという素晴らしい仲間で作っていただきたいと思います。世界中の仲間と声を掛け合って、大きなビジョンでこれからも素晴らしい世の中を作っていただきたいと思います。それには健康第一です。去年は正月早々に救急車で運ばれて、暮れにもまた救急車で運ばれました。人生何が起こるか分からないです。暮れに救急車で運ばれたのは、青信号で横断歩道を渡っていた時に車がぶつかってきたためです。それ以来、横断歩道が怖くて渡れなくなってしまいました。事故以来、自分で車を運転するときは本当に気を付けて運転しています。

どうかこれからもロータリーという素晴らしい組織で、素晴らしい時代を作り上げていただきたいと思います。

◆会員誕生日1月◆

岡田光祥君（1日）

